

## はるかぜ

はるかぜは、袋井市の障がい児放課後支援の委託事業ですが、国レベルの放課後等デイサービスの開所が相次ぎ、受け入れ先が増えたことや、市の単独事業からの移行政策が進み利用者数が大きく減少してきました。その中、今年度は新一年生1名が利用開始します。利用者数を増やしたい思いもありますが、支援するスタッフが、求人をかけても応募がなく、ギリギリの状態が続いています。

1対1支援の強みである家庭的で暖かい一人ひとりに向き合うことを大切にしたい支援を継続していきます。その中で今後に向けた課題と目標をあげてみました。

### 1. 利用者（父母）から選ばれる事業所

昨年・今年度と久しぶりに複数の見学者がありました。その中で、昨年1名・今年1名の利用が決まりましたが、見学だけで終わった方の方が多い状況でした。日常の様子を見ていただきますが、望むものが違ったようでした。

私たちスタッフには、今までの成功体験が多く自信となりすぎている面があるのではないかと、また、新しい世代の母親との感覚のズレが表れてきているのかもしれない。それらについて十分検討していきます。

### 2. 集団活動について

現在、1対1対応が必要な子どもが増え、個々の支援が増えています。しかし、いろいろな場面で、子ども同士の関わりから生まれる効果を意識して、子どもの力を引き出す工夫を考えていきたいです。

### 3. スタッフのスキルアップ

事業所として選ばれないといけない競争の時代に入っています。自分たちの支援の見直しを含め、スタッフ会議の中で個別検討を重ねていきます。また、対応に苦慮する場面も多々起きています。積極的に研修に参加していきたいと思えます。

今年度は、残り少なくなっている事業の継続をより良いものにしていくため、広く意見を参考にしていきたいと考えています。

各事業所の方々には、今後、ご協力を仰ぐことも多いかと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

(文責 鈴木直子)